

LINEの運用型広告プラットフォーム「LINE広告」、新たに「LINEチラシ」での広告配信を開始

2020.06.03 法人向けサービス

掲載店舗数・利用者数ともに急拡大中の「LINEチラシ」が広告配信面に追加

購買意欲の高いユーザーに対して幅広くアプローチが可能に

LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）は、同社が運営するコミュニケーションアプリ「LINE」および「LINE」関連サービスを対象とした運用型広告配信プラットフォーム「LINE広告（旧 LINE Ads Platform）」において、新たに「LINEチラシ」上での広告配信を開始いたしましたので、お知らせいたします。

「LINE広告」では、LINEおよびLINE関連サービスを対象として、2016年からLINEの「タイムライン」や「LINE NEWS」に加え、「LINE BLOG」、「LINEマンガ」、「LINE ポイント」、「LINEショッピング」、トークリスト最上部の「スマートチャンネル」、LINEの様々なサービスへのゲートウェイである「ウォレット」上で広告配信を行っています。運用開始以降、累計10,000を超える広告アカウント^{*1}に出稿いただいています。

*1 2020年5月末時点

このたび「LINE広告」では、企業におけるマーケティング活動の最大化を目的に、2月に開始した「ウォレット」タブでの広告配信に続いて^{*2}、新たにLINEのデジタルチラシサービス「LINEチラシ」での広告配信を開始いたしました。

*2 プレスリリース：LINEの運用型広告プラットフォーム「LINE広告」、新たに「ウォレット」タブでの広告配信を開始 <https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2020/3082>

■月間利用者数5,600万人の「ウォレット」タブからアクセスできる「チラシメディア」上で、購買意欲の高いユーザーに対してアプローチが可能

「LINEチラシ」は、LINE上で地域の店舗のセール・特売情報を閲覧できるスマートフォンに最適化したデジタルチラシサービスです。国内月間利用者数5,600万人^{*3}の「ウォレット」タブからアクセスできる「チラシメディア」上に、LINEユーザーごとにパーソナライズされた近隣店舗のチラシや、レコメンド商品が掲載されます。2019年10月のサービス開始以降^{*4}、スーパー・ドラッグストアを中心に掲載店舗数を順調に伸ばし、2020年3月には新たに掲載可能業種として家電量販店等をはじめとする13業種を追加。掲載店舗数・利用ユーザー数ともに急速な成長をとげており、4月時点で店舗ページの閲覧ユーザー数が前月比2.9倍以上に増加しています。

「LINEチラシ」は、ユーザーがスーパーやドラッグストアなどの店舗での購入を検討している際に閲覧する可能性が高く、「LINE広告」を通して購買意欲の高いユーザーにアプローチが可能です。^{*5}

*3 2020年2月時点

*4 プレスリリース：LINEを活用したデジタルチラシサービス「LINEチラシ」の先行販売開始 <https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2019/2904>

*5 LINEチラシの配信面の特徴 <https://www.linebiz.com/jp/service/line-ads/line-flyer/>

「LINEチラシ」での広告配信イメージ

※画像はサンプルです



※広告が表示される位置は、Topページ/店舗ページ/商品ページ、それぞれの中部と下部です
※リリース時点では、Topページ（中部）に広告は表示されません。7月初旬～8月初旬ごろに対応予定です。

LINEでは、今後も様々なメニューを通じて、企業とユーザーの双方にとって価値のある情報接点を提供し、コミュニケーションインフラとして多様な活用の可能性を広げてまいります。

■ 「LINE広告（旧LINE Ads Platform）」について

「LINE広告」は、LINE株式会社が運営するコミュニケーションアプリ「LINE」関連サービスを対象とした運用型広告配信プラットフォームです。運用開始以降、累計10,000を超える広告アカウント^{*6}に出稿いただいております。「LINE」アプリ内で高いMAUを誇る「タイムライン」と「LINE NEWS」への配信に加え、「LINEウォレット」、「LINE BLOG」や「LINEマンガ」、「LINEポイント」、トークリスト最上部の「スマートチャンネル」、「LINEショッピング」への広告配信が可能です。また、「LINE広告」を通して、5,400万^{*7}のMAUを保有するアプリ広告ネットワーク、「LINE広告ネットワーク（旧LINE Ads Platform for Publishers）」への配信も可能です。広告の表示有無や配信ターゲット、その効果等を細かく確認・検証しながら運用することができるため、予算が限られているプロモーションへの対応や、売上予測や目標達成度等に合わせた配信が可能になります。

*6 2020年5月末時点

*7 2019年12月時点

「LINE広告」の詳細・お問い合わせはこちらから：<https://www.linebiz.com/jp/service/line-ads/>

© LY Corporation